

大学発・技術 PR レポート

1. 研究室概要

大学名	東洋大学		研究者	島田裕次
			職位	教授
研究領域	経営情報		窓口担当	粕谷俊介(研究支援課)
研究キーワード	内部監査、システム監査、IT ガバナンス、リスクマネジメント			
住所	〒350-8585 埼玉県川越市鯨井 2100			
電話	049-239-1519	E-mail	ml-chizai@toyo.jp	
FAX	049-231-1722	URL	http://ris.toyo.ac.jp/details/index.php?user_id=1454	

2. 技術PR事項

『コンサルティング機能を活用したグリーンイノベーションの推進』

1. 概要

◇ 攻めの視点と守りの視点

グリーンイノベーションが世の中の注目を集めています。グリーンイノベーションには、自社の製品やサービスをグリーンビジネスへの展開に活用していくという「攻めの視点」推進と、社内の省資源・省エネルギーなどを目指した「守りの視点」からの推進に整理できると思います。こうした二つの視点から自社の事業内容を再点検し、新しいアイデアを考案し、それを実践することは、社内の人材だけでは難しいのではないのでしょうか。社内での発想は、どうしても今までの発想の延長線や、目に見えない制約があるものです。また、グリーンイノベーションを進めるために、どのような解決手法を取り入れればよいのかが分かりにくいと思います。

◇ 内部監査のコンサルティング機能

解決手法としては、内部監査の手法を取り入れることが考えられます。内部監査というと検査というイメージが強く、何かを摘発するものだと思われがちで誤解される方々も少なくないと思います。先端的な内部監査では、業務の無駄を発見し、新たな業務プロセスを提言する役割ももっています。また、ビジネスチャンスにつながるもの(利益を生むもの)がないかどうか調べて、取組みを推進すべきことなどを提言することも行います。こうした機能は、内部監査のコンサルティング機能と呼ばれます。

さらに、環境マネジメントシステムを取り入れ、認証を取得している企業も多いと思いますが、品質マネジメントシステムや内部統制との重複など、社内のグリーンイノベーションを進めていく上での非効率な部分があります。こうした非効率な部分を発見し改善していくことも、内部監査のコンサルティング機能を活用すれば解決できることも少なくありません。

2. 希望する連携内容(共同研究、試作品作りなど)と相談に対応できる技術分野

- ◆ 本研究室では、連携先の企業様に対して、今までに蓄積した内部監査の実務経験・ノウハウ・多種多様な業種の企業の情報などを提供します。連携先企業では、当研究室のコンサルティングに対して、必要な情報の提供、現地視察、担当者への質問などの対応を行っていただきたいと思います。進め方は、連携先企業様との協議のうえ決めたいと思います。

3. 特記事項

- 代表論文:「企業力を高める内部監査—多面的なアプローチによる改善提言(第44回内部監査推進全国大会(2)価値を付加する内部監査を!—組織の健全かつ継続的な発展に寄与する内部監査の実践)」、「ERM とシステム監査」
- 著書拙著『内部監査入門』、翔泳社、島田裕次編著『内部監査人の実務テキスト 業務知識編』日科技連出版社、他多数